

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公表番号】特表2005-530493(P2005-530493A)

【公表日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2003-585746(P2003-585746)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/015 (2006.01)

A 6 1 K 39/04 (2006.01)

A 6 1 K 39/118 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/145 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/245 (2006.01)

A 6 1 K 39/29 (2006.01)

A 6 1 K 39/385 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/025 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 39/015

A 6 1 K 39/04

A 6 1 K 39/118

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/145

A 6 1 K 39/21

A 6 1 K 39/245

A 6 1 K 39/29

A 6 1 K 39/385

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/025

C 0 7 K 16/18

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月21日(2006.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

精製ワクチンであって、該ワクチンは以下：

(a) 第 2 のポリペプチドに作動可能に連結された第 1 のポリペプチドを含むアジュバントポリペプチドであって、該第 1 のポリペプチドは、ムチンポリペプチドであり、 $\alpha 1$ 、3 ガラクトシルトランスフェラーゼによりグリコシル化され、該第 2 のポリペプチドは、免疫グロブリンポリペプチドの少なくとも 1 つの領域を含む、アジュバントポリペプチド、ならびに

(b) 抗原、
を含む、精製ワクチン。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記アジュバントポリペプチドは、前記抗原に作動可能に連結される、ワクチン。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記アジュバントポリペプチドは、前記抗原に共有結合されている、ワクチン。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記第 1 のポリペプチドは、PSGL-1、MUC 1、MUC 2、MUC 3、MUC 4、MUC 5 a、MUC 5 b、MUC 5 c、MUC 6、MUC 11、MUC 12、CD 34、CD 43、CD 45、CD 96、GlyCAM-1、MA d CAM、またはそれらのフラグメントからなる群より選択される、ワクチン。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記第 1 のポリペプチドは、P-セレクチン糖タンパク質リガンド-1 の少なくとも 1 つの領域を含む、ワクチン。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記第 1 のポリペプチドは、P-セレクチン糖タンパク質リガンド-1 の細胞外部分を含む、ワクチン。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記第 1 のポリペプチドは、ヒト P-セレクチン糖タンパク質リガンド-1 のアミノ酸 19～319 を含む、ワクチン。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記第 1 のポリペプチドは、複数の Gal α 1, 3 Gal エピトープを含む、ワクチン。

【請求項 9】

請求項 6 に記載のワクチンであって、前記第 1 のポリペプチドは、野生型 P-セレクチン糖タンパク質リガンド-1 ポリペプチドより多くの Gal α 1, 3 Gal エピトープを含む、ワクチン。

【請求項 10】

請求項 6 に記載のワクチンであって、前記第 1 のポリペプチドは、野生型 P-セレクチン糖タンパク質リガンド-1 ポリペプチドより 2 倍多くの Gal α 1, 3 Gal エピトープを含む、ワクチン。

【請求項 11】

請求項 6 に記載のワクチンであって、前記第 1 のポリペプチドは、野生型 P-セレクチン糖タンパク質リガンド-1 ポリペプチドより 3 倍多くの Gal α 1, 3 Gal エピトープを含む、ワクチン。

【請求項 12】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記第 2 のポリペプチドは、重鎖免疫グロブリンポリペプチドの領域を含む、ワクチン。

【請求項 13】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記第 2 のポリペプチドは、免疫グロブリン重鎖の

F c 領域を含む、ワクチン。

【請求項 14】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記アジュバントポリペプチドは、二量体である、ワクチン。

【請求項 15】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記抗原は、C 型肝炎、H I V、B 型肝炎、パピローマウイルス、マラリア、結核、単純ヘルペスウイルス、クラミジア、およびインフルエンザ、またはこれらの生物学的成分からなる群より選択される、ワクチン。

【請求項 16】

請求項 1 に記載のワクチンであって、前記抗原は、腫瘍関連抗原である、ワクチン。

【請求項 17】

請求項 16 に記載のワクチンであって、前記腫瘍関連抗原は、乳房、肺、結腸、前立腺、膵臓、頸部および黒色腫の腫瘍関連抗原からなる群より選択される、ワクチン。

【請求項 18】

請求項 2 に記載のワクチンをコードする、単離された核酸。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の核酸を含む、ベクター。

【請求項 20】

請求項 19 に記載のベクターを含む、細胞。

【請求項 21】

アジュバント化合物をさらに含む、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 22】

癌を発症させる危険性のあるヒト被験体において免疫するための組成物であって、該組成物は、請求項 1 に記載のワクチンを含む、組成物。

【請求項 23】

癌に罹患した被験体における癌の症状を防止または改善するための組成物であって、該組成物は、有効用量の請求項 1 に記載のワクチンを含む、組成物。

【請求項 24】

請求項 23 に記載の組成物であって、前記癌は、乳房、肺、結腸、前立腺、膵臓、頸部および黒色腫からなる群より選択される、組成物。

【請求項 25】

細胞における抗体分泌を増大させる方法であって、該方法は、該細胞と精製ワクチンとを接触させる工程を包含し、該ワクチンは、以下：

(a) 第 2 のポリペプチドに作動可能に連結された第 1 のポリペプチドを含むアジュバントポリペプチドであって、ここで該第 1 のポリペプチドは、ムチンポリペプチドであり、 $\alpha 1$, 3 ガラクトシルトランスフェラーゼによりグリコシル化され、該第 2 のポリペプチドは、免疫グロブリンポリペプチドの少なくとも 1 つの領域を含む、アジュバントポリペプチド、ならびに

(b) 抗原、
を含み、その結果、該細胞における該抗体分泌が増大される、精製ワクチンである、方法。

【請求項 26】

請求項 25 に記載の方法であって、前記細胞は、B 細胞および T 細胞からなる群より選択される、方法。

【請求項 27】

免疫細胞活性化を増す方法であって、該方法は、該免疫細胞と精製ワクチンとを接触させる工程を包含し、該ワクチンは、以下：

(a) 第 2 のポリペプチドに作動可能に連結された第 1 のポリペプチドを含むアジュバントポリペプチドであって、該第 1 のポリペプチドは、ムチンポリペプチドであり、 $\alpha 1$, 3 ガラクトシルトランスフェラーゼによりグリコシル化され、該第 2 のポリペプチドは

、免疫グロブリンポリペプチドの少なくとも1つの領域を含む、アジュバントポリペプチド、ならびに

(b) 抗原、
を含み、その結果、該細胞の活性化が増大される、精製ワクチンである、方法。

【請求項28】

請求項27に記載の方法であって、前記細胞は、B細胞およびT細胞からなる群より選択される、方法。

【請求項29】

癌を発症させる危険性のあるヒト被験体における免疫のための医薬の製造のための請求項1に記載のワクチンの使用。

【請求項30】

癌に罹患した被験体における癌の症状を防止または改善するための医薬の製造における有効用量の請求項1に記載のワクチンの使用。

【請求項31】

請求項30に記載の使用であって、前記癌は、乳房、肺、結腸、前立腺、膀胱、頸部および黒色腫からなる群より選択される、使用。